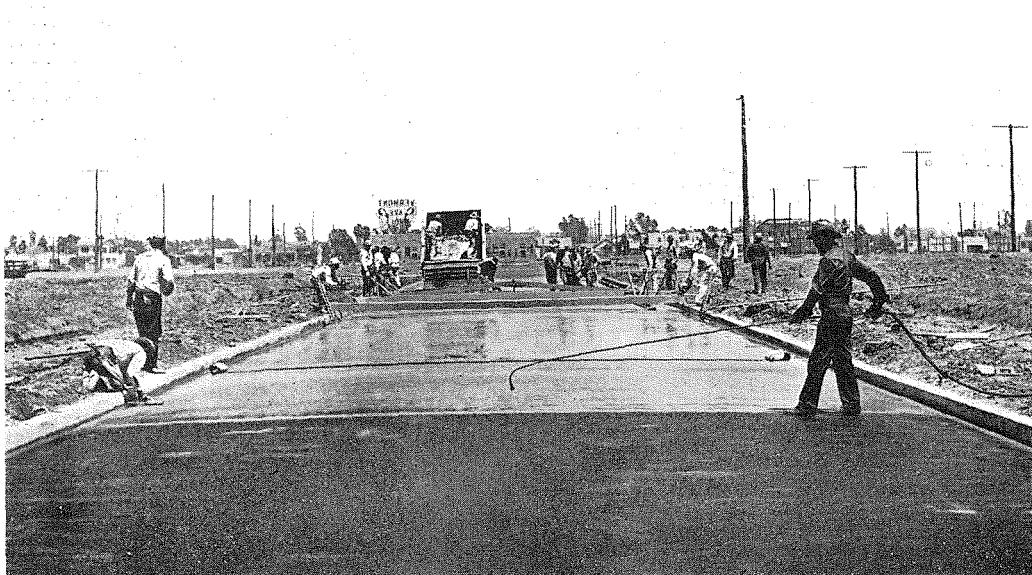


米國道路工事の紙上視察…第一回…(4)



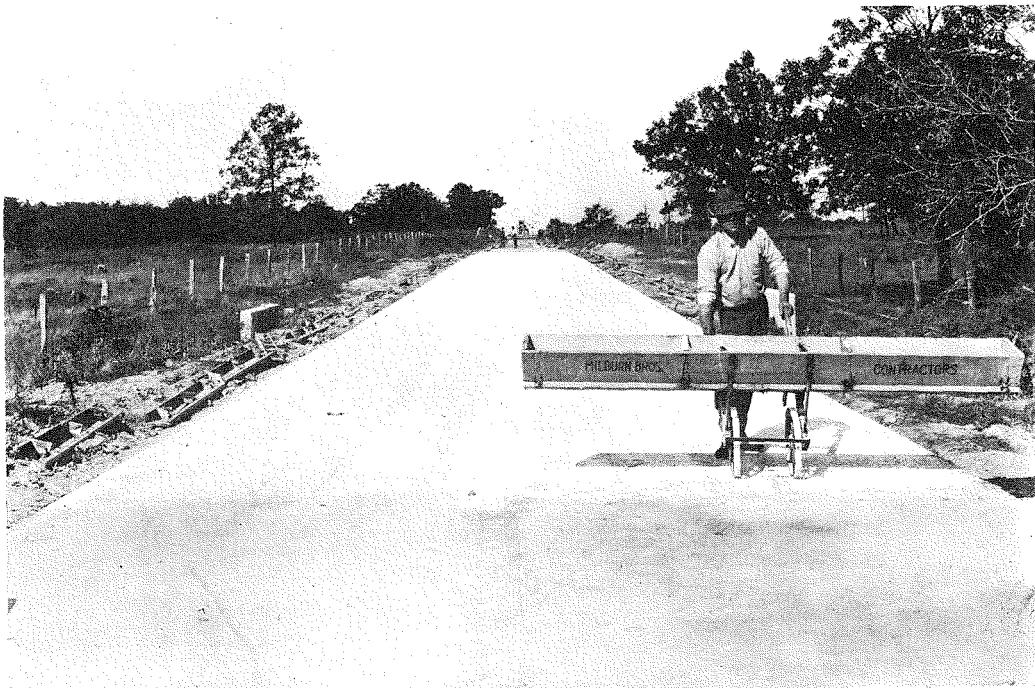
第14圖 混凝土養成法の二

近來 Los Angels を中心に行なはれる瀝青養法で Hunt Process はその一である。混凝土施行直後にアスファルトエマルジョンを路面に撒布し、かくして生ずるアスファルトフィルムのため混凝土中の水分は蒸發を防がれ、養生が完ふされるのである。

世界第一の自動車道路
米國道路工事の誌上視察

構造、施工法、發達の状況等凡ゆる方面に就て豊富なる寫真と其説明、筆者は専門研究家たる東京市技師工學士江守保平氏。

(一般的説明は一月號参照)



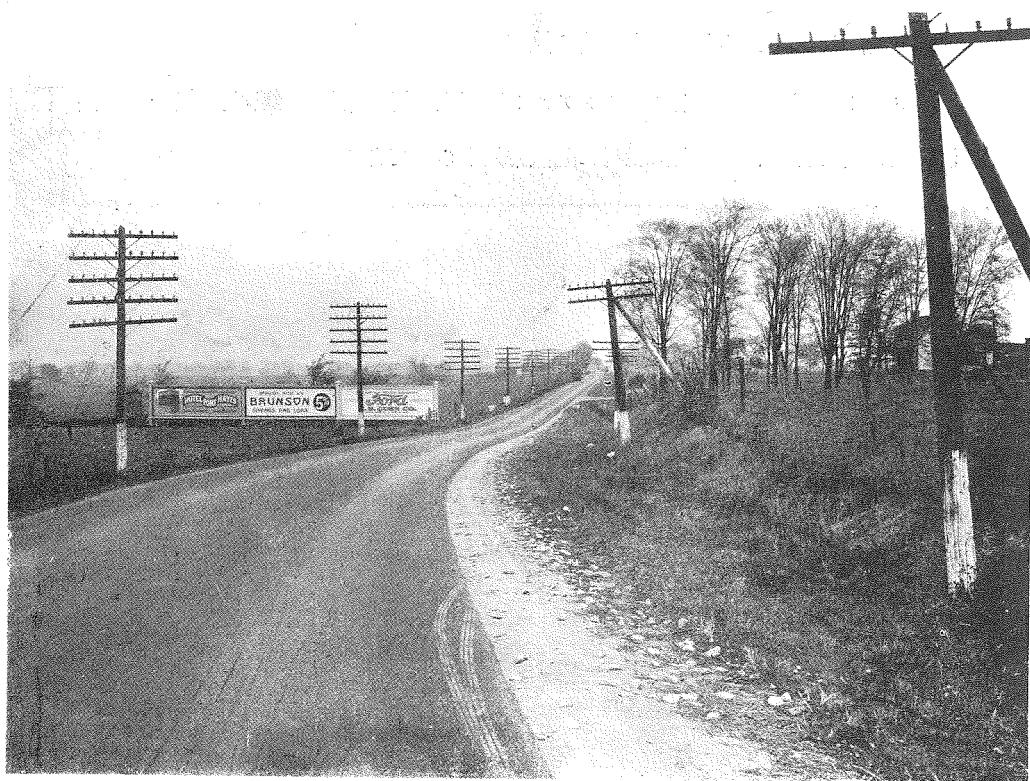
第15圖 混凝土養成法の三

近來試験的に行はれて來たもので混凝土施工後數日にして Calcium chloride (鹽化カルシウム) を撒布する。平方呎約一封度位撒く、かくすれば空中の水分を吸收し表面は常にうるほい完全な養生が行はれる。



第16圖 アスファルト鋪装の自動車
道路

Kentucky 州内起伏地方の自動車道で
混凝土基礎の上に州内生産の Rock asp-
halt を 2 吋厚に蔽ふたものである。

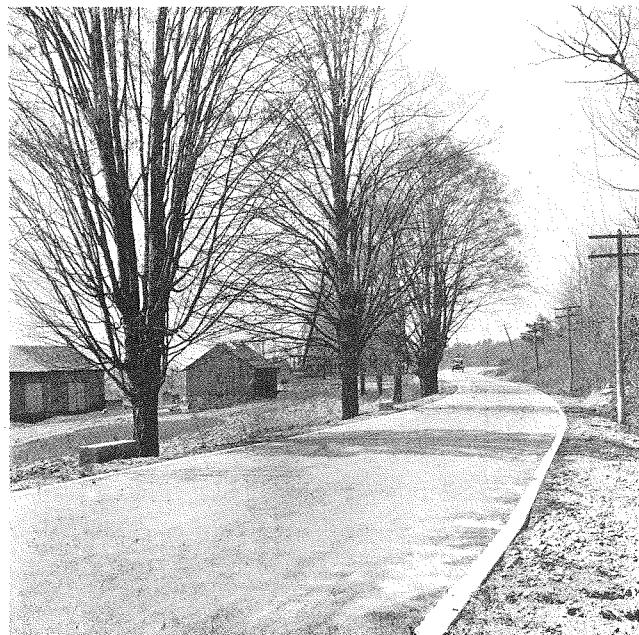


第17圖 アスファルトを以て鋪装したる State Highway.

混擬土基礎の上にアスファルトコンクリートを鋪装した州道の一例で、矢張り 20 呎の車道の外側に若干の Shoulder がある。

第18圖 アスファルト混疑土道路の築造

セメント混疑土基礎の上にアスファルト混疑土表層を布設する作業で混合は中央混合所に於て行ひ、自動車で現場に運搬するのである。

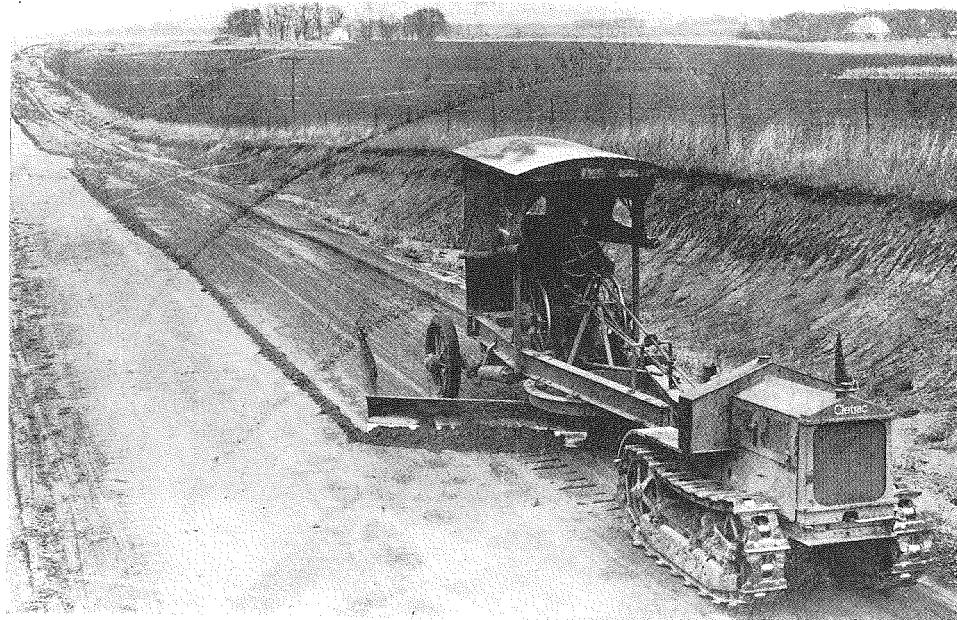


第19圖 アスファルト自動車道路の一例

巾員 18呎の State Highway にアスファルト混疑土を鋪装したるもので、混疑土基礎の厚さは 6吋とし表層は 2吋厚のアスファルト混疑土で、兩側は混疑土の縁で圍はれてゐる
工費は基盤共で平方呎約 2.50弗が普通である

第20圖 砂利道路の維持

米國の自動車道路は經濟上の關係から砂利道のまゝ残されてゐる部分が澤山ある。殊に Michigan から Illinois 地方にかけては氷河砂利の產額が多いので特にその利用がゆき渡つてゐる。此種の道路はその維持に常に注意を拂つてゐなければならぬ。なるべく春先で地盤の軟かい時分に寫眞の如き Grader でかきならして平滑なるを期してゐる。



第21圖 Maryland 州に於けるアスファルトマカダム道路

中央18呎に厚約6吋のアスファルトマカダムを施したもので、左右には土のまゝの Shoulder 数吋を残して支持してゐる。アスファルト撒布量は平方呎約1.5ガロン乃至2ガロン程度で、工費は全體で約1.50弗、一哩當りは土工から仕上まで約23.300弗となる。





第22圖 砂利道路の防塵法

防塵法として一般に用ひられるものは即ち鹽化カルシウムの撒布である。鹽化カルシウムはソーダ工業の副産物として産する白色結晶の粉末で乾燥状態のまゝ之を道路に撒布する。撒布された鹽化カルシウムは空中の水分を吸収して約1ヶ月は完全に濕氣を保つて塵を立てない。その撒布量は平方呎につき約一封度の割合でその費用は平方呎3仙、1哩で約300弗となる。

江守氏の米國道路工事紙上視察は本號を以て終りました。